

# 「国際金融都市・東京」構想骨子 ～「東京版金融ビッグバン」の実現へ～

- 「国際金融都市・東京のあり方懇談会」での議論（中間取りまとめ）を参考に策定
- 東京都として今後取り組む「行動」（Action）を3つの柱で整理した

## 具体的施策① ～魅力的なビジネス面、生活面の環境整備～

- **新規参入促進のため、法人二税の軽減を検討し、国にも働きかけ（特区税制の活用等による法人税の軽減、相続税の見直し 等）**
- **金融庁と連携した「ファスト・エントリー」の実現など、相談体制や支援体制の強化**
- **特区を活用した職住近接化プロジェクトの推進（医療・教育等）**

## 具体的施策② ～東京市場に参加するプレイヤーの育成～

- 官民一体となった海外プロモーション活動等による海外金融系企業の誘致
- 新興資産運用業者育成プログラム（EMP）の導入等による資産運用業者の育成
- エコシステム（東京版フィンテックセンター）の形成支援等によるフィンテック産業の育成
- 首都大学東京を活用するなど、高度金融専門人材等を育成

## 具体的施策③ ～金融による社会的課題解決への貢献～

- 金融庁と連携を図りながら、顧客本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティ）等を徹底
- 「東京グリーンボンド」を発行するとともに、民間によるグリーンファイナンスの利用促進
- 都民のニーズ、都政の課題、ESG投資の普及等に対応できる金融サービスや商品を開発・提供する「東京金融賞（仮称）」を創設